



未来を拓く



◇学校教育目標：夢をもち 未来を拓く子ども ◇重点教育目標：人・社会・未来とつながるWell-being2025

「秋の野山」

校長 南 向 信 一

9月17日に秋の野山の活動を実施しました。前の週にヒグマの目撃情報が富沢でも報告されたことを受け、外での活動を取りやめワークプラザで行いました。講師には「コモドリくらす」の佐野先生をお迎えし、「ヒグマについて考える」授業をしていただきました。

ヒグマの生態について実際に熊の毛皮に触れて、爪や顔を観察したり、前足と後ろ足を比べたりして「思ったより毛が硬い」とか「爪が硬い」「手（前足）の方が足（後足）よりも大きい」など新たな発見の中から学ぶことができました。熊の巣穴の中の写真にもあり、興味津々で見入っていました。さらに、熊に出会ってしまったときの対処について考えることは、悪いことではありませんが、出会わないないようにすることを考えてほしい、そのためには、人間の生活圏内に熊を呼び込んでしまわないことが大切とのお話でした。

活動の後半では、クラスごとにクラフト体験をし、低学年は「どんぐり笛」、中学年は「シマエナガキーホルダー」、高学年は「葉っぱのアート」を制作し、ためになる楽しい時間を過ごすことができました。

試行錯誤について その①

「試行錯誤が生む『できた！』の喜び」

子どもたちが何かに挑戦し、失敗と成功を繰り返す過程は、自己肯定感を高める上で非常に重要です。例えば、新しい遊びや学習課題に直面したとき、最初からうまくできなくても、「どうすればできるだろう？」と自分で考え、工夫する過程そのものが学びとなります。

友達と協力して試行錯誤を重ね、目標を達成した経験は、「自分の力でできた！」という達成感につながります。これは単なる成功体験ではなく、困難を乗り越えた自分自身を肯定的に捉える力となります。大人は、結果だけでなく、子どもが試行錯誤する過程を尊重し、見守る姿勢が求められます。学校生活の中で、少しでも多くの試行錯誤の時間を確保できるよう、意識していきたいと思います。

心理的安全性

考えるために

自己決定

試行錯誤

自信
自己肯定

富沢っ子まつり



8月29日（金）、富沢っ子まつりを行いました。富沢神社から御神輿をお借りして担いだり、保護者のみなさんの準備してくださった出店に参加したり、ビンゴ大会をしたり、楽しい午後の時間を過ごしました。



秋の野山活動

9月17日（水）、富沢小学校ではワークプラザにて「秋の野山活動」を実施しました。はじめに、熊の毛皮や頭骨を使った学習を通して、熊の生態について教えていただきました。その後は、森の恵みを活かしたクラフト活動に取り組みました。



後期児童会選挙

9月11日（木）、児童会の役員選挙が行われました。立候補者と責任者による演説では、学校をよりよくしたいという熱い思いが伝わり、聞いている児童たちも真剣な表情で耳を傾けていました。



リングプル

9月19日（金）、生活委員会がこれまで回収してきたリングプルを、道新なかた販売所の方へお渡ししました。約10年間にわたる児童の地道な取り組みにより、集まったリングプルの総量はなんと約81kgに達しました。この活動は、資源の再利用を通じて社会貢献につながるだけでなく、児童一人一人が「自分の行動が誰かの役に立つ」という実感を得る貴重な機会となりました。



地域での学び

9月24日（水）、全校児童で江蔵さんの畑を訪問し、収穫体験をさせていただきました。土に触れ、作物の成長を肌で感じました。また、3・4年生は「スイーツ」をテーマにした校外学習として、「くら」と「ピルカノ」を訪問しました。実際の現場での体験を通して、自分たちが設定した課題について学びを深めることができました。



1日（水）職員会議⑥

7日（火）旭川市教育研究会（臨時休業）

9日（木）視力検査（高学年）

10日（金）視力検査（低・中）、実行委員会①

13日（月）スポーツの日

14日（火）実行委員会②

15日（水）学芸会総練習 諸費納入日

18日（土）学芸会

20日（月）振替休業日

21日（火）委員会⑦

23日（木）クリーンデー

中学年校外学習（博物館）

24日（金）Cap あさひかわ授業

27日（月）スクールカウンセラー来校日

28日（火）中学年校外学習（浄水場他）

30日（木）人権の花感謝状贈呈式

